

## 一般公開シンポジウム

## 私の考える地域循環共生圏

## 地域循環共生圏の創造に向けての環境科学研究の役割

日時 2020 年 12 月 18 日 (金) 15:00~17:30 (終了予定)

注: 基調講演は、オンデマンドにより事前配信

参加費 無料

会場 オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

主催 一般社団法人環境情報科学センター

後援 環境省、環境経済・政策学会、環境福祉学会

参加申し込み先 → [https://www.ceis.or.jp/sympoinfo\\_2020.html](https://www.ceis.or.jp/sympoinfo_2020.html)

(2020 年度環境情報科学研究発表大会サイトより参加登録をお願いします)

## 開催趣旨

第 5 次環境基本計画において我が国発の脱炭素化、SDGs の実現に向けた新しい考え方として、「地域循環共生圏」が提唱され、その創造に向けての取組が推進されています。

環境情報科学センターは、2021 年に設立 50 周年を迎えますが、その記念活動の一環として環境情報科学の新たな研究分野での展開を目指して、この「地域循環共生圏の推進」をテーマとして研究の発展のための提言を行うこととしています。

本シンポジウムにおいては、基調講演 (オンデマンド配信) で持続可能な地域社会の構築と地域循環共生圏の創造について行政の取組を御紹介いただきます。次に「私の考える地域循環共生圏」として実践者、研究者等の関係者の方々からそれぞれの立場でお考えや取組を紹介いただくとともに、公募によって事前に意見を提出いただいた学生や若手研究者の方々に参加いただき、地域循環共生圏の現状やあるべき姿について議論を行います。これらを通じて地域循環共生圏について共通の理解を形成し、今後取組むべき方向等を明らかにすることによってその推進を図るとともに、環境情報科学センターの提言に反映させることを目的としています。

なお、本シンポジウムは、環境情報学術研究論文発表会の一環として開催するもので、会員に限らず広く一般の方も対象に公開して開催します。

## プログラム

【総司会】荒井 眞一 : 環境情報科学センター常務理事

## 1) 開会挨拶

大塚 直 (環境情報科学センター理事長、早稲田大学法学部教授)

## 2) 基調講演 (30 分)

「環境で地方を元気にする地域循環共生圏」

中井徳太郎 (環境省 環境事務次官)

※オンデマンド事前配信

\*\*\*\*\*

## 3) パネルディスカッション「私の考える地域循環共生圏」

## 第 1 部 講演 (60 分)

## ① 「地域新電力と e-モビリティサービスを活用した地域循環共生圏の創出」

山口 一哉 (小田原市エネルギー政策推進課副課長)

## ② 「地域循環共生圏の国際展開、アジアの事例から」

片岡 八束 (IGES 都市タスクフォース ジョイント・プログラムディレクター; シニアコーディネーター)

## ③ 「ローカル SDGs と地域循環共生圏」

川久保 俊 (法政大学デザイン工学部准教授)

## ④ 「地域循環共生圏の重層性」

一ノ瀬友博 (慶應義塾大学環境情報学部教授)

## 第 2 部 パネルディスカッション (約 70 分)

・モデレーター 小谷 幸司 (日本大学生物資源科学部教授、環境情報科学センター理事)

・パネリスト

講演者 4 名

佐々木真二郎 (環境省 大臣官房 環境計画課 企画調査室長)

・ディスカッサント 6 名

## ① パネリストコメント

佐々木真二郎 (環境省 大臣官房 環境計画課 企画調査室長)

## ② ディスカッサントによるコメント及びそれに対するパネリストのコメント

・「人々がつながり「幸福」を循環・共生させる社会」  
重浩一郎 (岩手県教育委員会事務局)

・「クラウドファンディング型地域循環共生圏支援策」  
有賀健高 (埼玉大学大学院 人文社会科学部研究科准教授)

・「消費とハサミは使いよう」  
大西 茂 (滋賀大学環境総合研究センター客員研究員)

・「地域の自立により成り立つ地域循環共生圏」  
三橋晴香 (麻布大学生命・環境科学部 学生)

・「THE チーム戦! 地域の個性を活かす地域循環共生圏」  
難波晶子 (大阪大学大学院 大学院生)

・「学びで続く地域循環共生圏」  
杉森天真 (麻布大学生命・環境科学部 学生)

## ③ 議論 (30 分)

\*\*\*\*\*

## 4) 閉会挨拶

藤田 八暉: 環境情報科学センター常務理事  
(久留米大学名誉教授)

## ■講演者 プロフィール（講演順：敬称略）■

### 基調講演 中井徳太郎（なかい とくたろう）：環境省環境事務次官

---

1962年生まれ。東京大学法学部卒業。85年大蔵省入省。主計局主査（農林水産係）などを経て、99年から2002年まで富山県庁へ出向。生活環境部長などを務め、日本海学の確立・普及に携わる。02年財務省広報室長。04年東京大学医科学研究所教授。09年財務省理財局計画官。10年財務省主計局主計官（農林水産省担当）。東日本大震災後の11年7月の異動で環境省に。総合環境政策局総務課長、大臣官房会計課長、大臣官房秘書課長、大臣官房審議官（総合環境政策局担当）、大臣官房審議官（総括担当）、廃棄物・リサイクル対策部長、総合環境政策統括官を経て、2020年7月より現職。

### 講演・パネリスト 片岡 八束（かたおか やつか）：

#### IGES 都市タスクフォース ジョイント・プログラムディレクター；シニアコーディネーター

---

神戸大学大学院国際協力研究科 博士課程前期課程修了（法学修士）。（財）地球環境センターに勤務し、主にアジア地域における環境技術協力を携わる。2001年4月、長期展望・政策統合プロジェクト研究員としてIGES 着任、淡水管理プロジェクト研究員、プログラムマネージメントオフィスシニアコーディネータ（ネットワーク・アウトリーチ担当）、IGES 北九州アーバンセンター副所長を歴任。2017年より現職。現在の主要研究分野は持続可能な開発目標（SDGs）のローカライゼーションおよび自治体による自発的なSDGsレビューの仕組みである Voluntary Local Review（VLR）。

### 講演・パネリスト 山口 一哉（やまぐち かずや）：小田原市 環境部 エネルギー政策推進課副課長

---

1992年4月小田原市役所入庁。情報システム運用開発、総合計画策定、シティセールス、ふるさと納税、定住促進策などの業務に携わり、2019年4月より現職。

### 講演・パネリスト 川久保 俊（かわくぼ しゅん）：法政大学デザイン工学部准教授

---

慶應義塾大学理工学部後期博士課程修了。博士（工学）。法政大学デザイン工学部助教、専任講師を経て2017年10月より准教授（現職）。専門は建築／都市のサステナブルデザイン。近年は、持続可能な開発目標 SDGs の主流化に関する調査研究を進めている。主な受賞歴：グリーン購入大賞・環境大臣賞、日本建築学会奨励賞、日本都市計画学会論文奨励賞、山田一宇賞。

### 講演・パネリスト 一ノ瀬友博（いちのせ ともひろ）慶應義塾大学環境情報学部教授

---

農村計画学会長。専門は、景観生態学、緑地計画学、農村計画学。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了、博士（農学）。ミュンヘン工科大学留学、兵庫県立大学准教授、マンチェスター大学客員研究員、ウィーン工科大学客員研究員、ヴェネツィア大学客員教授などを経て現職。現在、環境再生保全機構環境研究総合推進費戦略的開発領域 SII-5-3「自然資本と社会関係資本に着目した地域循環共生圏の重層性構築に関する研究」を遂行中。

### パネリスト 佐々木真二郎（ささき しんじろう）環境省 大臣官房 環境計画課 企画調査室長

---

2002年、環境省に入省。環境省レンジャーとして、国立公園や世界自然遺産の保全管理、希少野生生物の保護を担当。東日本大震災では、自然環境を活かして復興に貢献する「グリーン復興プロジェクト」として、みちのく潮風トレイルの整備などにかかわる。2017年から2019年まで福井県自然環境課長として、年縞（ねんこう）博物館の建設、コウノトリの野生復帰事業や自然再生事業を担当。2020年7月より現職。